

社会実装する取組

- ワーキングチームの提言のうち、直ちに取組むものについては各々の役割を踏まえて社会実装
- できるだけ早く（7～遅くとも8月）には実行（又は着手）し、新型コロナの第二波・第三波に備える
- 戦略会議に関係する全員が広報担当として、強い経済の構築に向けた取組を広く周知

		国	経済・ 産業界	県
1 労働力の流動性				
➢ アンケート調査、ポータル開設、雇用シェアの実施・支援	・ 国、経済・産業界、県が連携し、雇用シェアの仕組みを構築	●	●	●
➢ 外国人技能実習生等に関する特例制度活性化の要望	・ 実習が継続困難となった外国人実習生の就労促進		●	●
2 販路の拡大				
➢ 彩の国ビジネスアリーナのオンライン化	・ 毎年開催している県内最大のビジネス展示会をオンライン化		●	●
➢ 新分野への進出を妨げる規制緩和の要望	・ タクシー事業者による有償貨物運送許可の延長 など		●	●
3 サプライチェーンの維持・確保				
➢ OIMS、助っ人メーカーマッチングサイトの活用促進	・ マッチングサイトの活用促進により、サプライチェーンの多元化を促進	●	●	●
➢ SAITEC・高等技術専門学校設備の非常時利用制度創設	・ 非常時に県有施設の設備を貸し出す制度を構築			●
4 業務継続計画				
➢ 感染症リスクに対応したBCPセミナー、ワークショップの開催	・ 中小企業のBCP策定率向上		●	
➢ BCP策定済団体における模擬訓練の実施	・ 計画の実効性を高め、非常時に役立つBCPへ		●	
5 デジタル化推進				
➢ 人材マッチングサイト（「雇用対策ポータルサイト」）を設置・活用	・ 雇用対策ポータルサイトを活用してIT人材を確保	●	●	●
➢ 行政の申請手続きデジタル化	・ 県は電子化可能な手続き約200件に着手	●		●